

1 学校経営の理念

一人ひとりが学びを創る学校、一人ひとりがチームを創る学校

・自分の力で「自分らしく学ぶ」

・自他の存在を大切に「みんなで学ぶ」

「よりそう・みとめる・はげます」

人口減少と加速するI o T、気候変動、さらに平和を追究していた世界、社会も利益を優先する傾向が強まり、格差や分断が進む。一方で、競争からの脱却とウェルビーイングの理念が広がり、社会全体が変遷期の真ただ中にあることを誰もが実感している。これから生きる子どもたちに私たち大人は、一人ひとりが課題解決に向かうことのできる力、協働の価値の気づき、自他の幸せを求める姿勢を支えたい。

子ども達は皆、わかるようになりたい、成長したい、幸せでありたいと願っている。また、どの子どもも、考えたり、工夫したりする力を本来的に持っている。そうした子ども達が持つ力を伸ばすための支援が、今求められている。自分が自分を創ることの大切さに気付かせながら、授業や生活の場面において「委ねる・任せる場」の在り方を個々が考え、組織として深め、子ども達が「自分らしく学ぶ」ために工夫を実践していく。その鍵は授業にあり、授業の充実に向かう教材の研究や児童理解が必要になる。

さらに、子ども達は一人ひとり多様な個性を持つ存在であることを認識し、高度情報化社会の課題を踏まえ、家庭、地域との連携、また、それぞれ果たすべき役割をお互いに認識して日認知能力育てることを大切にしたい教育活動を展開していくことも大事にしていく。

多様な個性を持つ子ども達を支える基本は、その子を温かく見る目である。自他の命、存在を大切にする生き方を子ども達に伝えるために、「よりそう・みとめる・はげます」を大切にしたい教育活動を土台に学校に関わる全員でチームとなれる環境を作っていく。

2 学校の教育目標（子どもの姿として）

◇ 命、心、体を大切にする子ども

○ 自他の命と心を大切にしたい言葉を使い、行動に表そうとする

○ ものごとを明るく前向きにとらえようとする。

○ 自分の体に関心を持ち、健康な生活習慣づくりに取り組もうとする。

◇ 自ら学びを深める子ども

○ 自ら学び方を調整(自分の学びやすさ、やってみたい方法を考える)し、自分で、みんなで課題を解き明かそうとする。

○ 学ぶ内容の本質に触れ、自分の興味や関心を活かして多様な学び方(ICTの活用も含む)を身に付けようとする。

○ つまずきや失敗を生かしたり乗り越えたりし、できるようになろうとする。

○ 考えを伝え合い、共感と改善の視点により、みんなで高め合おうとする。

◇ 仲間を大切にし、支えあう子ども

○ 困っている人や悲しんでいる人を気かけ、寄り添おうとする。

○ 問題や課題をそれぞれのよさを発揮して力を合わせて解決しようとする

○ 素直な心で相手や周囲の思いを受け止め、行動に移そうとする。

○ いじめを許さない心で生活しようとする。

◇ 郷土を愛する子ども

○ 地域をよく知り、地域の人との交流する中で、地域のよさを感じようとする。

○ 地域について考え、自分の思いを表現しようとする。

3 学校経営の方針（教職員を中心に、関わるすべての大人の姿として）

◇ 命と心を第一とし、多様性を理解しながら「よりそい、みとめ、はげます」姿勢

◇ 「自律した学び手」「将来にわたって生きる学ぶ力」を支える授業づくり

- ◇ 一人一人の強みを生かした学校組織づくりとチーム対応
- ◇ 学校運営協議会を核に、学校、保護者及び地域、専門機関の連携による教育力の向上
- ◇ 子ども達の生きていく未来社会を見据えた教育活動の具体的改善
- ◇ 教職員の働きがいと働きやすさを実現する具体的業務改善

4 学校経営の重点

- (1) 命と心を第一とした安心・安全な環境の整備
 - 個の見取りと温かな言葉かけによる心理的安全性の向上
 - 日常の指導及び訓練による個々の危険予測及び危険回避能力の向上
 - 事故・災害を想定した施設設備及び財務管理の組織的な推進
- (2) 学ぶ力を支える教育活動
 - 生きた知識を子ども達に身に付けさせるための教科の本質の見極め
 - 子ども主体の学びと自他との対話（伝え合うこと）を意識した授業づくり
 - **学びの自己調整ができる授業・単元づくり(自由進度型の学習の取り入れ)**
 - つまづきの理解に基づく個々及び集団の学力の向上
 - 効果・効率を保障する I C T の活用
- (3) 健やかな心身を育む教育活動
 - 保健・食育を核とした家庭との連携による生活習慣の確立
 - 家庭との連携によるメディアリテラシー及び時間管理能力の育成
 - 生涯にわたる健康と豊かなスポーツライフのための運動遊びと体力づくり
- (4) 豊かな心を育む教育活動
 - 日常的な言葉かけによる自己有用感と相手意識の醸成
 - 美しいこと、価値のあることを意識した活動場面の設定による感性の醸成
 - 善悪を教えると共に、ものごとを多面的・多角的に考えさせる道徳教育
- (5) 特別支援教育の充実
 - 互いの存在と個性を受け入れ補完しあうことの共通理解
 - 家庭・専門機関(特に医療)との早期連携による組織的かつ継続的な個別の支援
 - 児童、保護者の困り感とニーズ、指導の困難さに寄り添った組織的支援と計画的な就学指導
- (6) 働きがいと働きやすさを実現する教育課程
 - 教科担任制・学年部担任制の導入とその教育的効果の検証
 - 5時間授業を基本とし、限られた時間における各職種の専門性向上
- (7) 郷土・地域とつながる教育活動
 - 子ども達に関わる課題の解決を目指す学校運営協議会での熟議による行動化
 - 地域の人・物・事に関わる活動の充実及びそれらを支える学校支援ボランティアとの連携
 - 地域の多様な他者との関わりの中で生き方を考える

職員全員で共通認識し、職業を通して成長する私たち

◇教育的愛情の言語化、行動化による信頼の構築

- よりそう 子ども話に、子どもの頑張り、子どもの笑顔に、子どもの涙に、何より子どもの心に響くことを意識する

☆眼差し、傾聴（よく話を聞く）、愛語、背景の創造、＜側で・離れて＞

- みとめる 一人一人の成長を、頑張った過程を、何より存在そのものをみとめる

☆共感、寛容、温かな心と言葉で

- はげます 失敗や間違いを乗り越えようとする姿勢を、やり切ろうとする強さを、何より自分の意思を大事にして挑む姿をはげます

◇働きがいの実感 ・研修の充実による専門性の向上、子ども達の成長の実感

◇働きやすさの実感 ・自他尊重による人間関係構築

・勤務時間の自己管理による仕事と生活の充実

◇信用失墜行為の絶無 一人一人の豊かな人生のために同僚性を発揮する

◇「時を守り、場を清め、礼を正す」 私たち身近な大人が手本を示す